

東北風景写真家協会会員向け会報「東風季報」第59号です。当会報は会の行事、活動計画、各種のお知らせ、撮影適所、撮影情報、撮影テクニックなどの記事を掲載しております。

東風季報

発行 東北風景写真家協会 〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡4-1-8 パルシテイ仙台1階F号 東北カラーデューブ株式会社榴岡店内 Tel 022-256-2141, Fax 022-256-2142 編集 進藤・阿部

椎名亮介の冬景色・撮影ポイント

冬の印象をどう表現して感動を伝えるか。セミナーや撮影実習で椎名亮介先生にお話しを伺った。色調に乏しく単調な冬景色を捉える主要なポイントをあげる。



椎名亮介顧問

光と影 雲の流れで光の方向が変わり、白一色の雪原でもその表情が変わる。樹木の影を捉えてダイナミックに表現する。同じような雪原でも光と影の切り取り方で、奥行きや立体感のある表現も可能になる。起伏のある場所や斜面を利用して白一色に変化つけて、リズムミカル



草木 単調な雪面や湖面では枯れ木や冬枯れの草をアクセントにして、画面を構成する。笹や葎も風によるゆらぎを入れ季節感をだす。雪を被った木の実は冬の風物のモチーフになる。風情のある切り取り、絞りを開いて写してみよう。

朝夕の光 茶臼岳の朝焼け、磐梯山の夕暮れ、日が落ちて反射で黄金色に輝く湖面など息をのむ美しさ。夜

青みをつけて透明感 凍りついた湖面の透明感や寒々とした感じは青みをつけて表現する。機種にもよるが、色温度で調整できる。湖面模様はそれぞれの湖で刻々と変化する。大きな写り込みから小さな造形まで神秘的な自然現象である。

明け、日の出、夕日は年を通しての風景なのに、全てが雪に覆われた冬だからその色彩の変化や美しさだ。 しぶき氷、氷柱、氷瀑 厳しい自然条件でのみ見られる現象は、その生

定期総会開催

東北風景写真家協会第16回定期総会を、去る1月21日(金)午後、日立システムズホール仙台・エックホールにて開催しました。 今回は新型コロナウイルス感染症対策で、会場のテーブルを倉庫に収納、椅子は前後左右に密にならない様間隔を空けて45席設置しました。 総会前に椎名亮介顧

問によるスライド&トークセミナー「椎名亮介の冬景色・撮影ポイント」を開催。 返信ハガキでは参加予定者44名でしたが、コロナ禍の影響か、セミナー29名、総会28名の会員に参加頂き、委任状30名で在籍85名の過半数を超え、総会は成立しました。

総会及びセミナーの何れにも参加出来なかった会員の皆様には、当日配布した総会資料などを郵送手配しました。

- 総会は岡部監事の司会で開催宣言。竹内会長の挨拶後、定数確認の上総会成立を報告。議長選任で秋葉副会長を選出。議事の進行に入りました。 「議事」 ①2021年度 事業報告 ②2021年度 収支報告 ③会計監査報告 ④2022年度 事業計画(案) ⑤2022年度 収支計画(案) ⑥役員改選 ⑦その他



総会状況：竹内会長の挨拶

富士山とさくら絶景撮影ツアー

東北風景写真家協会企画 日本を代表する風景 「富士山とさくら絶景撮影ツアー」を実施します ●撮影ポイント 忍野村：日本の原風景・茅葺家屋と富士山とさくら風景 山中湖：朝焼けの富士山 河口湖：湖畔の富士山とさくら風景 朝霧高原：富士山と鯉のぼりの撮影 ●実施日 令和4年4月5日(火)～7日(木) ●旅行費用 78,000円 GOTOトラベル適用時は割引になります 同封のチラシをご覧ください多くの皆様のご参加をお待ちしております 協賛：東北フォトウォーキングクラブ

第7回作品展「美しい日本」について

東北風景写真家協会 作品展担当幹事 平素より会の運営にご協力を頂き厚くお礼を申し上げます。 さて、第7回作品展の開催がいよいよ迫ってまいりました。作品展開催の考え方、実施要領について以下、ご案内致します。

- (1) 第7回作品展は、コロナ禍の中で二度の延期を余儀なくされました。メディアテークの改修工事が予告されたことに伴い、急遽5月の開催(5月6日～5月11日)の運びとなりました。基本的には仙台市のコロナ対応に準拠して、公共施設(メディアテーク等)が開いている場合は、コロナ対策に十分配慮して開催に臨みたいと考えております。
- (2) 出展予定者の皆様には、別紙「第7回作品展実施要領のご案内(中間連絡)」をお送りしております。作品選び等、実施要領に基づき遺漏の無いようにご準備をお願い致します。
- (3) 従来、選考会は二日の日程で行っていましたが、今回はコロナの状況が不透明なこともあり、選考会を一日に規模を縮小し、合わせて個別選考会(竹内先生との個別相談会)を行うこととしました。選考会の詳細は「作品展実施要領(中間連絡)」及び「選考会実施要領書」をご確認願います。なお、今回の選考会にお申込みで無い方もご相談ごとがあれば、随時先生、作品担当幹事にご相談下さい。
- (4) 出展者には季報と同封して「出展作品等登録票」(返信ハガキ)もお送りしております。登録票は今後の作品展準備作業の進捗に関わる不可欠なものですので、必ず2022年3月25日(金)までに返信をお願いします。 また、登録票の「展示会当番担当日の申告欄」に希望日を2日以上ご記入下さい。当番日は返信ハガキの到着順に決めますので、都合のある方は早めの投函をお願いします。
- (5) 作品展の場が、東北風景写真家協会の会員を始め写真愛好者皆様の素晴らしい集いの場となることを願っております。 会員及び出展予定皆様のご協力を改めてお願い申し上げます。

★令和4年度年会費の納入のお願い 今年度の総会開催時にご入金できなかった会員の方は直接お振込みをお願いいたします。 年会費(3,000円)は、遅延の方も左記いずれかの口座宛お振込み下さい。振込手数料はご負担をお願いいたします。 ●七十七銀行旭ヶ丘支店 普通 5272599 東北風景写真家協会 ●ゆうちょ銀行 18190-1 14388881 トウホクフウケイ シヤシヤンカキョウカイ ▼お問い合わせ先 会計担当 孫田幹事宛 090-2360-2973 《節約術》七十七銀行旭ヶ丘支店のATMでキャッシュカード利用振込で振込手数料は無料になります。

お知らせ ○第8回定禅寺フォトコンテスト 優秀賞 「聖夜」 高瀬 英雄 ○丸森町沢尻 棚田写真コンテスト 特選 「空鏡の棚田」 小檜山 裕行 受賞おめでとうございます (敬称略) 各種コンテストにて受賞・入賞されました会員、また、写真誌に掲載されました会員情報等は、連絡可能な幹事あてご連絡をお願いいたします。

フォト散歩 七ツ森湖あたり

秋葉 健一

日ごろ気軽にでかけるところは誰にもあるだろう。私にとって近郊の七ツ森湖周辺はその一つでもある。四季を通じて自然の移ろいを感じられるところだ。散歩がてらにシャッターチャンスに出会えばなお嬉しくなる。

七ツ森湖畔周辺には千本の桜が植栽されている。その中で、桜の種類も多く開花の時期も長い。特に、ダムの下方面にある四十八滝運動公園一帯は沢山のソメイヨシノで覆われる。街の桜が終わるころ見頃になるのでゆっくり楽しみながら、枝ぶりをみながら、どう七ツ森の峰々をレイアウトするか試してみる。背景の鎌倉山の斜面に点在する山桜も気になる。ここから少し下ったところに玉ヶ池があり、カタクリの開花に合わせるのが肝要。ここは七ツ森への登山口にもなっており、イノシシ除けの柵を越えていく。ニリンソウ、キクザキイチゲや

ヤマブキソウなどが咲き誇る。一方、七ツ森湖の上流側高台からは、湖面を見渡すことができる。満水となった芽吹き季節には水没林が美しい。光の方向を見て新緑の輝きを捉えたい。タイムリングを逃すと葉が繁り水面も隠れ、新緑の美しさが見えなくなってしまう。

蛇石せせらぎ公園を通り越して水辺に近づくと、水量によって水と織り成す風景も変化する。空模様にあわせて映り込み等も楽しめる。また、西側の蛇石せせらぎの森に入ると、自然観察コースとなっており、静かな里山散策が味わえる。立輪水辺公園の紅葉の見

ごろも終わる頃、なんと季節外れの桜が咲いている。数本の四季桜(?)があり、咲き出しも花付きも年によって違い、ポツリポツリとゆっくり咲き続ける。もし紅葉の時期に桜の花に出会えば幸いだ。

冬季は水位も下がり、いつもは水面下にある崖辺も見えてくる。水辺の雪景色や凍結の様子を光の具合を見ながら写してみる。時々刻々と変わる冬景色を追うのもまた楽しい。ただ、足元には十分注意しよう。



咲き誇る桜



芽吹きのところ

多重露光利用のボケ効果 撮影を試みて 高瀬 英雄

近年、私は加齢と共に体力の衰えを実感し、年々拍車がかかっているように思います。このような体力減衰の進行に伴い、フィールド撮影の都度に感じていたことがありま

す。それは、携行撮影機材の重さが負担に感じてしまふことです。高齡化社会の時代も反映してか、近年はミラーレス一眼レフカメラの普及が著しいですね。しかし、ミラーレスカメラの普及はありがたいのですが、私の眼中にあるカメラボディ並びに専用レンズはか

なり高価で、あと何年撮影活動が可能なのか不透明の私にとっては投資に躊躇しております。このような体力事情と撮影交通手段としてのバス・電車利用の私は携行機材を最低限に留めるようにしています。口径の大きいレンズは重

いので、極力外します。しかし、山野草などの撮影現場では、望遠やマクロレンズを用いて被写体前後のボケ効果を演出したくなります。しかし、携行レンズにこの種のレンズを外してい

た時、たまたま試みたボケ効果を演出した撮影体験を記して見ましたので、興味のある方はお試しください。撮影現場での被写体の生育条件が密集、或いは群生している場合、視界内

域で特定した被写体をクローズアップして、その前後の被写体にボケ効果を求めたい時がありました。その場合で試みた手順を以下に記してみます。

- ①カメラ内機構で多重露光機能に設定し、多重露出制御で2枚重ね加算または
- ②フォーカススタイルをマニュアルに切り替えます。
- ③撮影焦点距離ヘリコイドリングを回し、ファインダー内で、お好みのボケ具合を定めて一枚シャッターを
- ④前の過程で撮影したボケ画像の上に、次はお気に入りの花一輪を選び、今度はこれにピントを合わせて撮影します。
- ⑤カメラディスプレイ(液晶モニター)に撮影済画像を再生して、イメージした画像が得られたかを確認し、もし満足できなければ、③と④の撮影順を変えて効果が得られる場合もありますので付言しておきます。

これで終了です。前述した③④の過程を繰り返して満足できるまで続けることです。

以上、デジタルカメラだからこそ可能なボケ効果を求めた撮影試行体験をご紹介しますが、成功率を高めるため、更なる試行錯誤を行いたいと思います。ご参考まで、作例を添付します。

晶七(ター)に撮影済画像を再生して、イメージした画像が得られたかを確認し、もし満足できなければ、③と④の撮影順を変えて効果が得られる場合もありますので付言しておきます。

以上、デジタルカメラだからこそ可能なボケ効果を求めた撮影試行体験をご紹介しますが、成功率を高めるため、更なる試行錯誤を行いたいと思います。ご参考まで、作例を添付します。



作例作品

風景写真とデジタル写真-9 「スマートフォンによる風景写真の撮影」

竹内 正

今回は今注目されている、大型1インチの受光素子を搭載したスマホ(スマートフォン)の新製品を今までも写真撮影用機種に注力してきた、ソニーとシャープから発表されています。いよいよスマホでの写真撮影が本格的になる時代がきたのではと、関心を集めています。

スマホの受光素子は一般的にコンデジ(コンパクトデジタルカメラ)に搭載されている1/2.3インチと同等の受光素子が搭載されています。コンデジの写真的受光素子は、1/2.3インチ、1/1.7インチが主力でしたが、最近では記録撮影を主体にスマホが主流となりコンデジは姿を消しつつあります。1インチの受光素子を搭載しているハイエンドコンデジと防水耐久的な機種のみが生き残っている状況です。

私は各種の写真コンテストの審査員を務めておりますが、最近ではスマホで撮影された作品が多く見受けられるようになりました。最初はスナップ写真が主流でしたが、最近では風景写真も多く応募されるようになってきました。スマホ作品の特徴は被写界深度が深いこと、暗い所でのカメラブレが少ないことです。要因は短焦点距離のレンズが搭載されていること、電子シャッターによりシャッターブレがないことによるものと思われるます。写真の諧調もHDRの自動調整機能により整った作品が多く見受けられます。画質も展覧会用に作成したA3位までの拡大作品では問題ないようです。(画素数3,000万x4,000万程度の写真撮影を重視したスマホ)

スマホをお使いの方が多くと思いますが、是非風景撮影も楽しんで下さい。

▼スマホ写真の特徴 (1) レンズが超ワイド(フルサイズ換算16mm(20mm位))と短焦点のため被写界深度が深くピント合わせ不要。(2) 遠近感が誇張されるので近い被写体を強調できる。(3) 電子シャッター搭載によりカメラブレし難い。(4) HDR等により露出が比較的安定している。

▼スマホ撮影の注意点 (1) レンズの焦点距離が短いため周辺部の像が変形するので余裕をもってフレーミングしてプリントのとき調整する。



作例作品 (1)



作例作品 (2)

▼対策を講じて4月の撮影会・5月の作品展は是非成功させましょう。お知り合いの方への新規入会お声がけも、よろしくお願いたします。

編集後記